



H17. 7.15 1151
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行 = 指導部 漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 黒潮大蛇行に解消の兆し

気象庁では7月8日、黒潮は04年7月に東海沖で大きく離岸する大蛇行型の流れとなつて以来、現在も引き続き大蛇行型の流れとなっていますが規模が縮小し、今後数ヶ月のうちに解消する兆しが出ていると発表しました。

大蛇行型の流れが発生した当初と比べると、05年6月下旬の黒潮は蛇行部分が150km程度東に移動しました。蛇行東側の黒潮は八丈島の東を北上し、伊豆諸島海域の北部は蛇行の内側に入って、水温が低下しています。また、蛇行の最南下部分が50km程度北上し、蛇行規模が縮小しています。

これらの変化、海洋大環境モデルによる海流の数値予測結果及び過去の類似した事例の経緯から総合的に判断すると、今後黒潮は数ヶ月かけて、大蛇行型から非大蛇行型の流れに移行していくものとみられます。

2. 第3回JFマリンバンク全国大会開催 由比港女性部に感謝状

JF全漁連と農林中央金庫が共催する「第3回JFマリンバンク全国大会」が去る7月14日全国から関係者130余名が参加して開催されました。

大会は、主催者である上野博史農林中央金庫理事長、宮原邦之JF全漁連代表理事専務が挨拶の後、来賓の田原文夫水産庁長官が祝辞を述べました。

この後、平成16年度の経過報告、運動方針の提起、感謝状の贈呈が行われ、「漁協系統一丸となった組合員全戸訪問運動を实践する」「浜の力を結集し、漁協系統貯金残高の減少を阻止する」との大会宣言が満場一致で採択されました。

感謝状の贈呈では、本県の由比港漁協女性部が、永年に亘り貯金・定期積金獲得運動を女性部一丸で協力し行い、漁協系統信用事業推進に貢献したことが認められ優良漁協女性部として感謝状が贈呈されました。また、系統信用事業功労者表彰として、県信漁連清水房子大熱海支所長、同山本樹義御前崎支所長の両氏が受賞しました。

3. 全国青年漁業者グループリーダー研究集会在開催される

JF全漁連の主催、JF全国漁青連の共催による第11回全国青年漁業者グループリーダー研究集会在去る7月12日、全国の青年漁業者グループの役員ら約60人が参加して開催されました。

研究集会上では、平野重美JF全国漁青連会長と宮原邦之JF全漁連代表理事専務より、挨拶が述べられました。引き続き、「トレーサビリティで築く食の安全・安心システム」をテーマに、萩原秀彦農林水産省消費・安全局消費・安全政策課トレーサビリティ企画班課長補佐と長島徳雄海洋水産システム協会専務理事より講演が行なわれました。次に清野聡子東京大学大学院総合文化研究課助手が「日本の沿岸環境保全と再生における青年漁業者の役割と可能性」をテーマに講演しました。

翌日は、道府県漁青連会長会議が行われ、全国漁青連平野会長から「全国漁青連とし

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

での知名度のアップと、全国漁青連の事業を遂行するにあたり、現状の予算規模では充実した活動ができなくなることから、会費の値上げについて各県連組織で検討していただきたい」と、提案がありました。また、全国漁青連の事業の中には、4地区のブロック会議を開催することとなっていることなどから、会長会議で提案された事項については、今後各ブロックで協議検討し来年度の通常総会までに報告することとなりました。

4. 第6回シーフード料理コンクール作品募集のお知らせ

JF全漁連中央シーフードセンターでは、新鮮な感性と豊かなアイデアを生かした魚料理を発掘し、若い世代の食生活に結びつけようと、第6回シーフード料理コンクールを開催します。今回は審査委員長でもある服部栄養専門学校の服部幸應理事長が委員長を務めた「牡蠣(カキ)の日制定実行委員会」により、昨年11月23日が「牡蠣(カキ)の日」に決められたことを受け、プロ、浜料理の部でカキを使った料理がテーマとなりました。

テーマ： プロ・浜料理の部「牡蠣(カキ)」を使った自慢料理 一般・学生の部「私のお手軽自慢料理」
応募条件： 魚介類を主材料とする 副材料として海藻類が緑黄色野菜を使用 材料費は3,000円以内(4人分) 調理時間は、下ごしらえしないで1時間以内 応募締切：平成17年9月5日(月) 部門及び応募資格： プロの部 = 料理の仕事に従事している方 学生の部 = 小・中・高・大学・専門学校の生徒 一般の部 = 以外の方 浜料理の部 = 漁業関係者 応募・問合せ先： JF全漁連中央シーフードセンター 〒101-8503東京都千代田区内神田1-1-12 TEL03-3294-9671 FAX03-3294-3347

5. 新刊図書紹介 「日本漁業・水産業の変遷と展望」 赤井雄次著

本書は、第1部第1章の「明治期までの漁業と漁民」をはじめとし、「水産基本法」を長い漁業・水産業の歴史的変遷と政策の推移の終着点として、「日本漁業の変遷をひもといています。第二次世界大戦までの漁業から戦時中、そして戦後占領下での漁業と政策など、歴史と共に歩んだ漁業を振り返りながら、国際社会の中で、今の日本漁業が置かれた立場を再認識していきます。

第2部「漁業・水産業の展望と政策」では、経済的視点からはもちろん、資源管理対策や漁業従事者確保などの直面する課題についてまとめています。

なお著者の赤井雄次氏(水産経営技術研究所長)は、水産庁・魚価安定基金に勤務し昨年までJF全漁連の特別嘱託でした。

A5版・251頁 定価：2,500円(税込) 発行所：(有)水産経営技術研究所 TEL03-3584-7631 FAX03-3582-4770

6. 諸会議日程(7月19日(火)~8月1日(月))

- 既報分省略 -

7月22日(金) 県機船底曳網組合 = 湾内調整会議 (静岡漁協)

7月26日(火) 県漁業共済組合 = 県漁業共済事業普及推進員会議 (県水産会館)

7月29日(金) 県おさかな普及協議会 = 夏休み親子おさかな体験教室 (小川漁港)

" 県JF女性連 = 理事会 (県水産会館)

7月31日(日) 県遊漁船業協会 = 初心者向け船釣り教室 (由比港漁協)

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう